

授業科目名	授業形態	単位数	担当教員名
障害児保育Ⅱ	演習	1	加藤 義弘・岡田 強志

【ディプロマポリシーとの関連】

＜認知的領域(思考・判断)＞

4. 自ら設定した課題について、保育学・教育学・心理学・社会学などの研究方法を用いて考察することができる。

＜技能・活動的領域(技能)＞

6. 子ども学ゼミや実習指導によって習得した技能を保育・教育の現場に用いることができる。

【授業のテーマ】

障害児保育Ⅰで学んだ障がいの特性をもとに、いくつかの事例からさらに実践的なスキルや支援を考える。

【到達目標】

・障がい特性に適した保育や支援の進め方を考えることができる。

・仲間と共に育つ保育の進め方を考えることができる。

【授業の概要】

1. テキストの内容を中心に、実践的な理解を深めていく。
2. 必要に応じて、参考資料の配布、新聞からの情報提供、映像などの視聴を行なう。
3. 研究論文の実践事例を題材にグループワークを行なう。
4. 加藤と岡田が講義を分担して担当する。

【全体の授業計画・内容】

1. 家庭や関係機関との連携①(保護者や家族に対する理解と支援の方法)

事前学修課題: シラバスと教科書の該当箇所を熟読する【0.5 時間】

事後学修課題: 配布資料と教科書の該当箇所を読み直し、疑問や不明な点は次回の授業で質問する【0.5 時間】

2. 家庭や関係機関との連携②(地域の専門機関などとの連携や子ども一人ひとりの支援計画の作成)

事前学修課題: シラバスと教科書の該当箇所を熟読する【0.5 時間】

事後学修課題: 配布資料と教科書の該当箇所を読み直し、疑問や不明な点は次回の授業で質問する【0.5 時間】

3. 家庭や関係機関との連携③(小学校などとの連携)

事前学修課題: シラバスと教科書の該当箇所を熟読する【0.5 時間】

事後学修課題: 配布資料と教科書の該当箇所を読み直し、疑問や不明な点は次回の授業で質問する【0.5 時間】

4. 障がいのある子どもの保育にかかわる現状と課題①(保健・医療の現状)

事前学修課題: シラバスと教科書の該当箇所を熟読する【0.5 時間】

事後学修課題: 配布資料と教科書の該当箇所を読み直し、疑問や不明な点は次回の授業で質問する【0.5 時間】

5. 障がいのある子どもの保育にかかわる現状と課題②(福祉・教育における現状と課題)

事前学修課題: シラバスと教科書の該当箇所を熟読する【0.5 時間】

事後学修課題: 配布資料と教科書の該当箇所を読み直し、疑問や不明な点は次回の授業で質問する【0.5 時間】

6. 障がいのある子どもの保育にかかわる現状と課題③(支援の広がりにつながり)

事前学修課題: シラバスと教科書の該当箇所を熟読する【0.5 時間】

事後学修課題: 配布資料と教科書の該当箇所を読み直し、疑問や不明な点は次回の授業で質問する【0.5 時間】

7. 実践事例①「知的障がい」

事前学修課題: シラバスと教科書の該当箇所、事前配布された事例を熟読する【0.5 時間】

事後学修課題: 配布資料と教科書の該当箇所を読み直し、疑問や不明な点は次回の授業で質問する【0.5 時間】

<p>8. 実践事例②「発達障がい①」</p> <p>事前学修課題: シラバスと教科書の該当箇所、事前配布された事例を熟読する【0.5 時間】</p> <p>事後学修課題: 配布資料と教科書の該当箇所を読み直し、疑問や不明な点は次回の授業で質問する【0.5 時間】</p>
<p>9. 実践事例③「発達障がい②」</p> <p>事前学修課題: シラバスと教科書の該当箇所、事前配布された事例を熟読する【0.5 時間】</p> <p>事後学修課題: 配布資料と教科書の該当箇所を読み直し、疑問や不明な点は次回の授業で質問する【0.5 時間】</p>
<p>10. 実践事例④「言語障がい」</p> <p>事前学修課題: シラバスと教科書の該当箇所、事前配布された事例を熟読する【0.5 時間】</p> <p>事後学修課題: 配布資料と教科書の該当箇所を読み直し、疑問や不明な点は次回の授業で質問する【0.5 時間】</p>
<p>11. 実践事例⑤「肢体不自由」</p> <p>事前学修課題: シラバスと教科書の該当箇所、事前配布された事例を熟読する【0.5 時間】</p> <p>事後学修課題: 配布資料と教科書の該当箇所を読み直し、疑問や不明な点は次回の授業で質問する【0.5 時間】</p>
<p>12. 実践事例⑥「家族支援」</p> <p>事前学修課題: シラバスと教科書の該当箇所、事前配布された事例を熟読する【0.5 時間】</p> <p>事後学修課題: 配布資料と教科書の該当箇所を読み直し、疑問や不明な点は次回の授業で質問する【0.5 時間】</p>
<p>13. 実践事例⑦「定型児とのかかわり」</p> <p>事前学修課題: シラバスと教科書の該当箇所、事前配布された事例を熟読する【0.5 時間】</p> <p>事後学修課題: 配布資料と教科書の該当箇所を読み直し、疑問や不明な点は次回の授業で質問する【0.5 時間】</p>
<p>14. 実践事例⑧「統合保育と包括保育」</p> <p>事前学修課題: シラバスと教科書の該当箇所、事前配布された事例を熟読する【0.5 時間】</p> <p>事後学修課題: 配布資料と教科書の該当箇所を読み直し、疑問や不明な点は次回の授業で質問する【0.5 時間】</p>
<p>15. 試験、およびまとめ</p> <p>事前学修課題: シラバスと授業で使用したすべての配布資料を熟読する【2 時間】</p> <p>事後学修課題: 試験内容でわかりづらかった点を、最後のまとめを参考にして理解する【1 時間】</p>
<p><b>【学習のあり方】</b></p> <p>予習のあり方: 指定されたテキストを自分なりに読み込むこと。</p> <p>学習のあり方: 教科書と資料、担当教員の講義を参考に、指令されたレポート課題を完成すること。</p> <p>復習のあり方: 授業で学んだ箇所をテキストで振り返り、実践的な力となるように意識していくこと。</p>
<p><b>【成績評価】</b></p> <p>平常試験(80%)、提出物(20%)により総合的に評価する。</p>
<p><b>【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】</b></p> <p>授業において振り返りシートに記入する。このシートに記入された質問を次の授業にて説明する。</p>
<p><b>【テキスト】</b></p> <p>著者 阿部五月他 『障害児保育 …子どもとともに成長する保育者を目指して…』 萌文書林</p>
<p><b>【参考文献】</b></p> <p>適宜、お知らせする。</p>